



# おはようございます

日本共産党  
市議会議員

# いぬいえりです

2024年9月29日 NO.35

## 9月議会

9月5日 いぬいえり一般質問つづき 「防災について」

### もし大規模水害が起きたら

### 被災者想定最大5万6185人

### 避難所収容人数2万1768人

8月の「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発令されての対策。

南海トラフでは、流山は対策推進地域に指定されていない。計画の見直しはない。

「段ボールベッドは流通備蓄ということだが、緊急の場合に一定の備蓄は必要ではないか」との問いには、エアマット・ワンタッチベッドの備蓄をしているとのこと。

#### 大規模水害が起きた場合の想定

これは、7月の市政懇談会で地域の方から出た要望をもとに質問したものです。

3メートル以上の浸水想定地域の人口4万7165人、江戸川決壊で想定される被災者最大5万6185人、地域内要配慮者推計3145人、高齢者施設など105。一方、浸水しない指定避難所は47か所、収容人数2万1768人。つまり、被災しても避難所に入れない人が3万4417人。死者想定は801人。

#### 避難所に入れない人はどうするのか？

台風などはある程度予想がつくので、事前に親戚、友人宅、ホテル、近隣自治体の避難所などに避難を。車中泊の場合は高台

の学校のグラウンドなどに駐車を。

#### 避難先は自己責任なのか

◆マイタイムラインで避難先を決めておけ、というのが当局の立場です。災害時の対応を自分で考えておくのは大事ですが、3万人は親戚・友人・ホテルに行けということでしょうか？

江戸川決壊のような大規模な水害はめったに起きるものではないかもしれませんが、2019年にはレベル3までいっています。能登の豪雨と水害にもみられるように、これまでなかったは通用しない時代になっています。現実をみつめつつ、新たな対策を考える必要があるのではないのでしょうか。



#### 防災行政無線は壊れたら終了？

かねて防災行政無線が聞こえにくいという声があり、今のアナログ無線機器はもう生産していないこともあって、デジタル無線への切り替えを要望しています。

ところが、市長自ら答弁し、風雨の中では聞こえないので、身に着けているものでの伝達に切り替えていくと。防災行政無線は壊れたら終了？

